

# 男性教職員の育児休業取得体験談

～みんなで常識にしよう 男性教職員の育休～

令和6年2月

現代社会においては、男性が主体的に育児に参画していくことが求められており、男性の育児休業取得はワークライフバランスの推進や男女共同参画社会の実現にもつながるものです。

## 【男性が育児休業を取得することのメリット】

### 1 円満な家庭生活の確立

産後の女性は急激なホルモンバランスの乱れで産後うつやマタニティブルーを半数以上が経験。

### 2 仕事の効率性が向上～仕事の進め方を見直すきっかけ～

業務引継ぎの際に、業務の棚卸し・見える化を行うことで、「本当に必要な業務」がわかる。また、業務マニュアルの作成を行うことで、業務の属人化も解消される。また、男性が育児を経験することは教職員としても今後の働き方にも大きくプラスに作用。

### 3 教職員の魅力化

男性の育児休業取得率の向上は、男女共同参画社会の実現や教職員の魅力化につながるもの。長期の視点では教員のなり手不足の解消のためにも必要な取組となる。

## Q1 育児休業を取得している男性教職員はどれくらいいるのですか？

高知県教育委員会においては、男性教職員の育児休業等の取得目標を定め、取得促進に取り組んでいます。

令和4年度の男性教職員の育児休業取得割合は14.2%となっており、目標には到達していないものの、年々取得割合が増加しています。

項目	高知県教育委員会の目標	R2年度実績 (高知県公立学校)	R3年度実績 (高知県公立学校)	R4年度実績 (高知県公立学校)
男性の育児休業	令和6年度取得率 50%以上	7.3%	11.6%	14.2%
配偶者の出産休暇 男性職員の育児参加休暇	あわせて5日以上取得 令和6年度取得率100%	17.4%	18.6%	29.2%

## Q2 そもそもどんな休暇が取得できますか？

男性が取得できる育児に係る休暇・休業には以下のようなものがあります。「配偶者の出産休暇」や「男性職員の育児参加休暇」は有給であり、時間単位でも取得可能です。この他にも取得できる休暇がありますので、詳しくは「子育て休暇・休業のしおり」をご覧ください。

休暇・休業名	給与の有無	制度概要	期間	取得可能日数
配偶者の 出産休暇	○	妻の出産に伴う入退院の付き添い等を行う男性職員が取得できる休暇	配偶者が出産のため入院する等の日から、出産の日以後2週間の期間内	3日 (日または時間単位で取得可能)
男性職員の 育児参加休暇	○	妻の産前期間から出産後1歳に達する日までの期間に、生まれてくる子または小学校入学前の子を養育する男性職員が取得できる休暇	休暇予定日の8週間前(小学校入学前の子がある場合のみ)から出産後1歳に達する日(誕生日の前日)までの期間 ※多胎妊娠の場合は産前14週(小学校入学前の子がある場合のみ)から1歳に達する日までの期間	5日 (日または時間単位で取得可能)
育児休業	× 別途、共済組合から手当金の支給あり	3歳未満(3歳に達する日(誕生日の前日)まで)の子を養育する職員が一定期間休業することを認められる制度 ※原則2回まで取得可能		
産後 パパ育休	× 別途、共済組合から手当金の支給あり	原則2回までの育休とは別に、配偶者の出産後8週間以内の期間内(出産予定日前に子が出生した場合は、出生の日から出産予定日後8週間の期間内)に、2回まで最初の育休を取得できる		



## 実際に育児休業を取得してどうだった？



育児休業の取得を悩んでいる方の後押し・一助となるように、実際に育児休業を取得された男性教職員の体験談を紹介します。

### 小学校教諭【生後9ヶ月頃から約4ヶ月間取得】

#### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

まずは、男性も育児休業が取得しやすく制度が変わったことやそれにより取得した男性教職員の体験談を読んだことです。そして、何より職場や知り合いの教職員からの取得を後押しする声かけと管理職の理解が、迷っている自分の背中を押してくれました。

#### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

自分が育児休業を取得することを喜んでくれた教職員の仲間がいたことは、大変ありがたかったです。また、特に職場の管理職や教職員の皆様には、ご負担をかけたところもありましたが、笑顔で送り出してくださったことには感謝しています。

苦労したことは、休むための片付けや準備を行う時間を計画的に確保できなかったことです。これまでの片付けや処理に追われ、十分な引き継ぎができず、申し訳なかったです。

#### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

仕事に復帰した妻と交代する形だったので、子育て（主に食事、風呂、寝かしつけ）と家事全般を行いました。それで一日が終わっていききました。ずっと家にいると、これでいいのかと迷うので、近くの保育園にある地域子育て支援センターに時々通わせていただき、子どもを遊ばせたり、子育てについて相談したりしました。子どもも子育てする私もありのままを受け入れていただき、気持ち的にも大変ありがたかったです。また、子どもが遊べる公園や施設に出かけたりもしました。

取得して、子どもの日々成長する変化をじっくり味わうことができたことはうれしかったです。また、自治体の子育て支援を実際に味わい、社会制度のありがたさを実感しました。また、子育ての苦労や大変さを味わえたこともよかったです。まだ、言葉を話せない我が子から個への寄り添い方も学ばされました。

#### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

仕事復帰の時期に、夫に育児休業をとってもらい、自分も安心して仕事復帰に向き合うことができました。夫は仕事ばかりに向き合うタイプだったので、家庭へ向き合う時間の大切さも感じてもらったのではないかと思います。家族が増えた中で、ワークライフバランスをさらに進めてほしいと思っています。

#### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

先輩の「今しか味わえない。取得しないと後悔する。」といった声かけがあったことも、取得の大きなきっかけの一つです。そのことは、今振り返ると（本当にそうだったな。）と思っています。大変なこともあります。この貴重な命の育みをしっかり味わうことのできる、このありがたい制度をぜひ取得してください。その後の自分にもプラスになってますよ。

## 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

育児休業取得については、以前の職場で一緒になった先輩の先生が取得されていたこともあり、その方の話を聞く中で、子どものための時間を十分に作りたいと考えていました。

また、妻は初めての出産で、妻の実家が県外ということもあり、妻の負担を少しでも軽くしたいとも思い取得しました。

## 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

早めに相談することが大切と思い、妻の妊娠が分かった時点で、育児休業取得を管理職や学年団など、職場の方々に相談しました。その際に後押ししていただき、とても感謝しています。しかし、いざ育児休業取得に向けて考えていくと様々な悩みが出てきました。一番悩んだことは、クラスの子どものことや校務など、様々なことで周囲の方々に迷惑をかけてしまうことでした。そのため、自分が担当していた仕事については、考えられる準備（児童の引継ぎ、委員会の予定、校務分掌など）をしていました。しかし、準備が不十分な点も多くあり、ご迷惑をおかけしました。その都度先生方に対応していただき本当に感謝しています。

## 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

私の場合は、妻と育児休業の時期を重ねて取りました。育児休業前は、子どもの世話をどちらかがすることで気持ちにゆとりをもって、子どもと向き合えると考えていました。実際には、ミルクのあげ方やお風呂の入れ方、子どものあやし方など分からないことが多くあり、妻に聞いたり、二人で悩んだりする日々で、どちらかがするという事は難しかったです。また産まれてすぐはミルクが上手に飲めず、予防接種では熱が出るなど、神経を使うことも多くありました。そんな中でも家事を行い、身をもって育児の大変さを学びました。しかし二人で子どもと接する時間を共有できたことがとても貴重な時間になり、育児休業前と比べると、「家族を大切にしたい」という思いが一層強くなったように感じます。

## 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

「出産は何が起こるかわからない。」

私はまだ一人目の出産でしたが、この言葉を身に染みて感じました。早産に加えて低体重（2500g以下）で生まれた娘は、口が小さいことから母乳育児がうまくいかず、吐き戻しも多くありました。そのため、最初の2か月は特に不安と心配ばかりでした。でも、夫と一緒にいたことで、心の支えになっていたと思います。経験しないと、この大変さは分からないと思います。今、育休中ですが、一人で育児を担うのは大変だということを実感しています。この大変さを忘れず、私の復職後も一緒に育てていきたいです。

## これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

育児休業を取ることで、得たことはたくさんあり、私は取得して良かったと思います。子どもを持つ親の大変さや、自分自身の成長など様々なことを学び、気づかされました。現在の育児への考え方や関わり方にも、いい方向で生かされているように感じます。ただ、育児休業を取ることで、周りの方々に影響を与えることもありました。そのことから、より一層感謝の気持ちをもって、今の職務に励むことができていると思います。

ぜひ夫婦で相談して、前向きに育児休業に参加する人が増えたらと思います。



## 小学校教諭【生後3ヶ月頃から約4ヶ月間取得】

### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

初めての子育てを妻とともにスタートを切れたらいいなと考え、育児休業取得に踏み切りました。また、子どものいろいろな初めての経験や成長の一瞬を逃さず見ていき、家族で喜び合い、子どもについての悩みやトラブルもともに乗り越えていきたいと考えたからです。

### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

1月出産だったので、生まれる少し前から取得し、3学期の間お休みをいただくか、次年度の1学期の間お休みをいただくか迷いました。管理職とも相談し、1学期のほうが新体制として始まるので講師も見つかりやすいのでは、といった結論になりました。個人的に学校現場の人手不足が気になっていました。私が育児休業を取ることで、教員が不足し、ご迷惑をお抱えするのではないかと心配していました。しかし、たくさんの先生方が相談に乗って下さり、背中を押して下さったことがとても嬉しく、感謝しています。

### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

私が育児休業を取る頃には、子どもが生後3か月となっていました。そこに至るまでは、妻が毎日睡眠不足で、疲労困憊しており、少しのサポートしかできていませんでした。しかし、育児休業を取り始めて、赤ちゃんとお過ごし1日がこんなにも神経をすり減らし、気が休まらないことに驚きました。育児休業を取得したからこそ、毎日赤ちゃんのために尽くしてくれている妻や1日1日を懸命に過ごし、成長していつくれている赤ちゃんに感謝したいと思いました。

### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

夫に育休を取得してもらって、本当に良かったと思っています。1番よかったことは、孤独感を感じずに、夫婦で子どもと向き合っただけで育児ができたことです。初めての子育ては、分からないことばかりで、毎日不安の連続でした。ですが、困ったときにすぐに頼れる存在が居てくれたので、とても心強かったです。また、育児の大変さを理解してもらうことができました。そのため、夫が仕事復帰してからも育休中に身につけた育児スキルを生かして積極的に育児をしてくれているので助かっています。

### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

4か月の育児休業でしたが、本当にあっという間でした。子どもは毎日少しずつ成長していて嬉しい気持ちでいっぱいでした。学校の子どもたちとは短ければ1年の付き合いです。我が子はこの先何十年の付き合いとなるでしょう。そんな我が子にたくさんの愛情を注いであげたいと私は思っています。男性の育児休業の取得は全国的にもまだまだ数は少ないですが、男性でも取りやすい制度も徐々に増えてきています。検討されている先生はぜひ取得をおすすめします。



## 中学校教諭【生後9ヶ月頃から約4ヶ月間取得】

### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

日頃、教科指導や担任業務、部活動などで子供と過ごす時間が短かったため、この機会に育児休業を取得し、子供の成長を近くで見たかったから。また、妻の育児の負担を減らすために取得しました。

### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

校長先生をはじめとする管理職の方々には、育児休業の取得に対して前向きな意見をもらえました。

### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

子供の成長していく姿を間近で見ることができました。また、普段は部活動等でなかなか行けない場所にも子供を連れて行ってあげることができました。

### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

育児休業を取得してくれたおかげで、家族で過ごす時間が増え、一緒に子供の成長を感じることができたので嬉しかったです。また、普段の休日は部活動でなかなか旅行に行くことができませんでしたが、この機会に子供を様々な場所に連れて行ってあげることができ、とても充実した時間になりました。

### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

この期間でしか見れない子供の姿や家族での過ごし方があるため、育児休業を取得し実感していただきたいです。

## 高等学校外国人講師【生後0ヶ月頃から約4ヶ月間取得】

### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

子育てに参加することが大事だと信じています。私は子供の父としてのモデルなので、私の行動が愛情を伝えることができます。子供の人生に参加するだけでなく、妻をサポートすることも育児休業を取得したおかげでできます。

### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

長女は出産予定日より3か月早かったのですが、周囲の方は一生懸命サポートをしてくれました。私はかなり迷惑を掛けたと思いますが、心配せず皆様は力を貸してくれました。この大変な時に、コミュニケーションをよくとって、後悔がないために協力をして、心から感謝します。

### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

最初の6週間は妻が入院中で、私は長男の面倒を見ました。そのあと、長女の手術のために県外の病院に行く必要がありました。育児休業取得のおかげで、家族と一緒にサポートができました。

### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

一緒に子育てそして、家事をすることで喜びました。それ以上、私が育児休業取得の機会で、他の取得したい方がいれば、力を貸さないといけないと言われました。

### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

「バケーション」ではありません！勤務しているときより疲れてくるとは思いますが、別の疲れだと感じます。ご家族と一緒にいるときが重要です。お子さんの発達にも影響がありますが、親としての立場も意味あると思います。この大切な機会を大事にしてください。

## 中学校教諭【生後4ヶ月頃から約7ヶ月間取得】

### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

第1子でも育児休業を取得しており、その時子どもの成長を日々穏やかな気持ちで見守ることが出来たため、今回、第2子の誕生にあたり取得しようと思いました。

### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

年度の途中から取得をしたので、年度当初の組織決めからご配慮いただき、また学校の校務分掌や授業を引き継いでくださった先生方には迷惑をかけたと思います。ただ、そのような状況の中でも快く理解を示して下さった管理職をはじめ、学年、教科の先生には感謝をしています。

### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

子どもが4カ月頃から育休がスタートしましたが、今回は主にミルクで育てたので妻がいない時でもお世話ができるようになりました。ミルクを飲む姿や泣く姿、ハイハイができるようになる瞬間など、仕事をしているとなかなか立ち会えない成長の場面を見ることが出来たことはとても嬉しかったです。また、長男も小学校低学年で何かと手がかかる場面もあり、宿題を一緒にしたり、送り迎えなどふれあえる時間を多くとれたりしたこともよかったです。

### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

子どもが小さいうちは泣いている時に交代で抱っこしたり、家事の際に子どもと遊んでくれたりお風呂に入れてくれたり、ワンオペでは大変な場面にくれたことがとても助かりました。母親だけで子育てできると思わずに、二人で育てるという意識を持ってくれたことがとても嬉しかったです。

### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

子どもの成長はあっという間です。幼児教育の大切さも言われていますが、幼児期の愛情のかけ方や、触れ合いは子どもの健やかな成長につながると思います。その貴重な時間をできるだけ家族とともに過ごしてほしいと思います。私自身も育児休業明けは日々の仕事に追われ、育児に関わる時間も少なくなりました。一時も目を離すことはできない、24時間常に安全を意識することは思っている以上に大変です。両親でお世話ができるようになっておけば、不測の事態になっても対応がしやすいです。お互いで協力して子育てをすることが楽しめる、そんな社会になってほしいと思います。

## 特別支援学校教諭【生後0ヶ月頃から約1ヶ月間取得】

### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

妊娠中から妻の体調がよくない日が多く、産後についても不安が多くあったので、二人で話し合っただけで育休を取得しようということになりました。

### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

4月に異動したばかりで育休をいただくことに不安はありましたが、管理職の先生をはじめ、たくさんの先生方に今しかできないことなので、気にせず育児に専念したらいいよと言われてもらえ、育休をとることができたので感謝しています。出産後は、届出などたくさんやるがあるので、育休を取ったことでゆとりをもってできたと思います。

### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

第一子だったため、初めてのことでわからないことが多く、夜は寝ることができないこともありました。日中に交代しながら育児や家事を行い、睡眠時間を確保できたので、その点はよかったです。また、新生児期という貴重な時期を長時間息子と過ごし、成長を見られたのはよかったです。

### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

産後、歩くことでさえ十分にできない、子どもの抱っこも一苦労なのに日々が続き、夫の育休による支えがなければ心身ともにしんどい育児になっていたことと思います。しんどいことが多かった育休期間だとは思いますが、いてくれたおかげでとても心強く不安な時期を乗り越えられたと思っています。

### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

子供が泣き止まずメンタル的にしんどくなることもありましたが、時折見せる笑顔に何度も癒され、頑張ろうと思えました。ずっと一緒に過ごすことができたので、このような表情も見ることができたと感じています。

## 高等学校教諭【生後0ヶ月頃から約1ヶ月間取得】

### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

私は普段の業務や土日の部活動も多く、妻を一人にしてしまうことが多くありました。しかし、私たち夫婦の初めての子である息子を育てるにあたっては、二人で時間をしっかりつくろうという話になり、育児休業を取得するに至りました。また、報道でも育児休業が取り上げられることも増え、生徒たちのなかでも関心が高まっていることもあり、将来子育てに携わると予想される生徒たちにも何か伝えられることがあるのではないかと考えました。

### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

私は担任をしており、クラスを1ヶ月間お任せするにあたって、2人の副担任の先生にお願いしました。優れた知識と経験を持っている副担任の先生方で、非常に育児休業を取ることに賛成していただき心強かったです。教科主任、学年主任からも前向きに様々なアドバイスをいただき、授業やクラス運営の不安も払拭できました。生徒たちも応援してくれて、かなり前向きな気持ちで育児休業を取得することができました。本当に感謝しかありません。

### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

初めての子育てに悪戦苦闘しました。産後の妻の体へのダメージが著しく、立つのもやっとの状態が一週間ほど続きました。そこで私が炊事、洗濯などを担って行いました。恥ずかしながら、普段の家事を妻にいかに任せきりかを痛感しました。また、生まれたばかりの息子の沐浴、おむつの交換、寝かしつけなど初めてで手探りなことが多く、一日があっという間に終わっていきました。さらに、妻が乳腺炎など産後ならではのトラブルに見舞われ、その通院のサポートなどもありました。ただ、毎日の疲労感の中にも息子のかわいい寝顔をみて、ホッと一息ついた際に、育児休業を取って本当によかったなと感じました。わずか一か月ではありますが、夫婦で息子を育てるなかで、日々成長していく息子の姿に父親としての自覚が大きくなりました。きっと育児休業を取得していなければ、すべて妻や両親に任せきりになって、人任せな育児になっていたと感じます。そうした意味で、この一か月は大きなものであったと考えます。

### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

私にとっても初めての経験で、二人で子育てする!と気合いを入れるために夫にも育児休業をとってもらいました。実際に多くの場面で助けられる場面がありましたが、出産前から家事のノウハウを伝えておくべきだったとも思いました。子育てに関しては、貴重な新生児期を二人で見ることができ、小さな幸せを毎日を共有できたことがすごく嬉しかったです。一ヶ月の取得期間はあっという間で少し短いようにも感じました。

### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

テレビ番組で、『生涯に親子が一緒に過ごす時間は?』という質問があり、『父親は約3年4ヶ月(母親は約7年6ヶ月)』と答えられていました。もちろん、各家庭によって過ごす時間は様々ですが、かけがえない子どもとの時間にしてはあまりに短いように感じます。さらに親と過ごす時間は乳児期、幼児期に集中しているようです。だからこそ、私はこの時間を大切にしたいと考えて、育児休業を取りました。また、育児と聞くと、妻に何事も任せてしまいがちではありますが、父親として何かできることはあると思います。妻も育児休業中に常々『一緒にいてくれてよかった』と言っていたことが印象的でした。私はこの育児休暇で過ごした1ヶ月で子どもがどのように成長していくかの一部を垣間見ました。まだまだ手探りではありますが、この経験が今後の生徒たちとの接し方に影響を及ぼすと確信しています。生後まもない子どもの世話をしたって・・・とお考えの方もいるかもしれませんが、大人と子どもが過ごす時間がそのまま子どもの成長につながることは普段の業務で感じておられると思います。仕事で生徒たちと触れ合うことも非常に大切な経験ですが、自分の子どもと過ごす時間も同じくらい大切だと思います。高知新聞にも『高知男子 家事・育児 V2』(高知新聞、2023年9月24日)という明るいニュースもあります。ぜひ、多くの先生に自分の子どもと触れ合う機会を設けていただくと幸いです。

## 特別支援学校教諭【生後0ヶ月頃から約1ヶ月間取得】

### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

男性職員が育児休業を取得する事例を身近で感じるが増えてきたこともあり、以前から興味を持っていました。妻は仕事柄、完全に休業することは難しく、私が育児休業を取得することで、その期間中に、お互いが仕事と子育てを両立するためのライフスタイルを考えていこうという話を進めてきました。また、二度とない新生児期を家族で大切に過ごしたいという思いで、取得を決意しました。

### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

一番に職場の先生方の理解がありがたかったです。育児休業取得の申し出までには、様々な葛藤がありました。学校現場が人手不足なのは周知の事実であり、代わりの先生に来ていただけるのか、またそのような環境下で休業することに対して、少なからず周囲の目を気にしてしまうこともありました。しかし、いざその思いを打ち明けてみると、管理職の先生、周囲の先生方は、「学校のことは教員同士でフォローすることができる。けれども奥さんのフォローはあなたしかできないのだから。生まれてくる赤ちゃんとおさんの事を大事にしてあげて」と前向きな言葉をいただき、非常に嬉しかったことを覚えています。

### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

第1子につきすべてが初めてのことばかりで勉強の毎日でした。24時間体制の育児の苦労を妻と共感できたことは、仕事復帰後の現在も、妻の視点に立って物事を考えようとする意識の変化につながったと思っています。また何とんでも、新生児期の成長を直にこの目で見られることはかけがえのない経験です。昨日見せなかった表情を今日は見せるようになったなど、夫婦で子どもの小さな成長を発見しながら喜び合えた、大変すばらしい期間となりました。

### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

育児休業を取得してもらったことで、新生児の頃にしかできない沐浴等の育児や家事の協力、産後の精神的・肉体的に大変なところまで助けてもらいました。家族3人で貴重な時間を過ごせたので、とても感謝しています。

### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

私自身、育児休業取得の前は不安でいっぱいでしたが、休業を終えてみて大変満足しています。我が子の成長を日々感じるだけでなく、家庭での役割分担が明確になったり仕事の効率化が図られたり、良かった点が多かったです。体験者それぞれにエピソードがあると思いますので、取得に踏み出せず迷われている方は、ぜひ周囲の体験者に相談されることをおすすめします。



## 特別支援学校教諭【生後0ヶ月頃から約1ヶ月間取得】

### 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

一人目の育児の際、3か月頃までは抱っこをしていないと眠ることができなかつたため、交替で抱っこする要員は不可欠という話になりました。二人目の子供では交替で睡眠を取ったり、上の子の面倒が見たりできるようにと話し合い、育児休業を取ることにしました。

### 育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

学校行事を担当する部署の部長だったため、休業期間までに行事の提案をしたり、部長なしで業務が進められるよう準備を行ったりしました。休業期間中の授業の自習課題なども準備をしました。周囲の先生からは是非休業を取って下さいと声をかけて頂き、ありがたかったです。管理職も積極的に休業を取るよう勧めて下さり、休業を申し出やすい雰囲気を作って頂きました。

### 育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

育児休業はお休みではなく、家で本当に大変な新生児期の子育てを、妻と一緒にやることだと思います。眠れないし、抱っこで腕はパンパン、腱鞘炎寸前、腰も痛い。自由もないし、楽しい休みという訳ではないですが、そのような大変なことを妻一人に押し付けなくて済むことが育児休業の価値だと思います。大変なことはきちんと分け合い、子どもと一緒に見つめ、お互いに助け合うことは、子育てが終わった後の夫婦の人生にも大きな影響を与えることだと思います。力を尽くして、納得して人生の歩を進められることが、本当に良かったことだと思っています。

### 育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

家事は全てやってくれたので、身体を休めることができました。また、上の子と一緒にたくさん遊んでくれたので、上の子も毎日楽しそうで、赤ちゃん返りすることもなく落ち着いて生活することができました。生後すぐの大変な時期に家にいてくれたことで、家族みんなが心に少し余裕ができ、育児を楽しむことができました。

### これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

出産は女性の身体に大きなダメージを残すので、少なくとも出産後1か月は授乳以外のことは夫がするようにして、妻の回復に努めることが必要かと思います。当たり前に育児休業を取って、当たり前に夫が家のことをする。そのような時代だと思います。出産は家庭の中が激変する大変なものですが、それにより不幸を感じる家族が生まれないう、出産が幸せなものになるよう、育児休業を適切に利用して、頑張してほしいと願っています。

発行：高知県教育委員会事務局教職員・福利課

〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52 電話：088-821-4901 FAX：088-821-4725

E-Mail：[310601@ken.pref.kochi.lg.jp](mailto:310601@ken.pref.kochi.lg.jp)